

期待にホコラとの士設計造構

コンクリート診断士の役割を考える

福井県診断士会が研修会

120人参加



福井県コンクリート診断士会（石川裕夏会長）主催の「他地域での維持管理の取り組みや事例を学ぶ研修会」が他地域から

学ぶこれから維持管理とコンクリート診断士の役割」が3日、福井市のアオッサで会員120人が参加して開かれ、コ

ンクリート診断士の社会的意義を改めて考えた。

石川会長はあいさつで、「福井方式」と題して地元自治体との密接な連携・協調のもとに取組む同会の考え方や目的を改めて示し

続いて、東京工業大学名誉教授で日本コンクリート診断士会長の林静雄氏が「建築においてコンクリート診断士に期待すること」と題して特別講演。林氏は、構造設計建築士はコンクリート劣化診断をしてくれるパートナーとしてコンクリート診断士を必要としており、両者のコラボによる可能性を期待。その上で、コン

クリート診断士にも、もっと建築の知識を身につけてほしいとした。

その後、静岡県、石川県、広島県の各診断士会の会長が地元での維持管理の取り組みと活動事例を紹介。パネルディスカッションでは、石川会長が診断士の地位向上に向け、技術の研さんに加え、一般市民への広報強化も必要とした。